



第16回上田八木・金融政策サーベイ(2017年12月)

発表日：2017年12月19日(火) 14:00 上田八木短資株式会社

調査日	2017年12月14～18日
調査先	197先
回答率	89.8%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(12月20日～12月21日)における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回10月27日)	変化幅
緩和	0 (構成比%)	1	▲1
不変	99	99	0
引締	1	0	+1
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	+1	▲1	+2

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回10月27日)	変化幅
低下	1	2	▲1
不変	95	92	+3
上昇	4	6	▲2
短期金利予想DI	+3	+4	▲1

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回10月27日)	変化幅
低下	1	0	+1
不変	86	91	▲5
上昇	13	9	+4
2年国債金利予想DI	+12	+9	+3

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回10月27日)	変化幅
低下	1	4	▲3
不変	83	82	+1
上昇	16	14	+2
10年国債金利予想DI	+15	+10	+5

質問(Q5) 現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント)からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回10月27日)	変化幅
1. 1年未満	6%	4%	+2%
2. 1年以上3年未満	67%	63%	+4%
3. 3年以上	27%	33%	▲6%